

平成24年（行ウ）第117号 発電所運転停止命令義務付け請求事件

原告 134名











被告 国



















参加人 関西電力株式会社

証拠説明書（17）

平成29年12月25日

大阪地方裁判所第2民事部合議2係 御中

被告訴訟代理人	竹野下 喜 彦	
被告指定代理人	坂 本 康 博	
	檜 野 一 穂	
	西 門 純 平	
	鈴 木 和 孝	
	飛 田 由 華	
	帆 足 智 典	
	鈴 木 優 香 子	
	望 月 一 輝	
	原 田 剛	


信	藤	竜	治	
玉	井	秀	幸	
松	村	理	紗	
高	橋	正	史	 代
小	林		勝	 代
小	川	哲	兵	 代
大	城	朝	久	 代
矢	野		諭	 代
仲	村	淳	一	 代
森	川	久	範	 代
海	田	孝	明	 代
井	藤	志	暢	 代
大	野	佳	史	 代
種	田	浩	司	 代
豊	島	広	史	 代
谷	川	泰	淳	 代
羽	田	野	誉	 代
小	野	祐	二	 代

西崎崇徳 代

小山田巧 代


荒川一郎 代

中川淳 代

止野友博 代

木原昌二 代

山田創平 代


片野孝幸 代


村上玄 代

照井裕之 代


岡本肇 代

正岡秀章 代

皆川隆一 代

角谷愉貴 代

田尻知之 代

大塚恭弘 代

大浅田薰 代

岩田順一 代

鈴木健之 代

三井勝仁 代

佐藤秀幸 代

永井悟 代

佐藤雄一 代

藤原弘成 代

略語は準備書面の例による。

号 証	標 目 (作成者等)	原 ・ 写	作 成 年月日	立 証 趣 旨
乙第87号証	推本レシピ (推本 地震調査委員会)	写	H29. 4. 27 改訂	推本レシピ (H29. 4. 27改訂版) の内容
乙第88号証	琵琶湖西岸断層帯の地震を想定した強震動評価について (推本 地震調査委員会)	写	H16. 6. 21	地下の震源断層モデルを科学的・合理的に想定して設定する地震動評価は、これまでも広く用いられていること
乙第89号証	山崎断層帯の地震を想定した強震動評価について (推本 地震調査委員会)	写	H17. 1. 31	同上
乙第90号証	川内原子力発電所 地震について (抜粋) (九州電力)	写	H26. 5. 23	九州電力による川内原子力発電所の地震動評価の手法が、強震動予測レシピを直接的に用いたものではなく、同レシピの一部を改変したものでもないこと
乙第91号証	Source rupture processes of the 1944 Tonankai earthquake and the 1945 Mikawa earthquake derived from low-gain seismograms (Masayuki Kikuchiほか)	写	H15. 3. 19	菊地ほか (2003) の内容 (一部和訳については、被告が付したものである。)